

駅周辺整備に民間活力を



太田 薫 議員

町民の積極的な事業参加が 賑わい再生のカギ

問 駅舎とその周辺の整備がいよいよ始まるが、町づくりの会社「TMO」のようなコーディネーター役の登場が待たれる。

今まで行政が中心に都市計画を考えてきたが、町民や地元商店街、事業者が株主となり、行政と手を組み「協働」のまちづくりを実行する株式会社「TMO」では、町民自らの発想と責任でまちのニーズを考えていく事ができる。

これから、次世代へ引き継ぐわが町の、未来計画を実行していくための手段として考

えるが、町長の所見を伺う。
※TMOとは「様々な主体が

参加する街の運営を
横断的・総合的に企
画調整する組織」

町長 遊佐元町の賑わいの再生をめざし、駅舎に新しい機能を盛り込む工夫をこらし、元町の皆さんと一緒に頑張って賑わいを創り出していきたい。

遊佐元町の自然・歴史・文化などの地域資源の価値を高め、

活用していくことが出来るよう、地域資源活用調査と賑わい再生事業に取り組む。
現在、遊佐町商工会や遊佐元町の街並みを明るくつくる会、町民駅実現委員会等の皆さんと積極的な活動を展開しており、事業の充実に努めていきたい。

駅周辺の整備、賑わいの再生は地域住民や商店街など関係者の取り組みと連携が重要であり、TMO・まちづくり会社等による協働のまちづくりを進めていきたい。



都市計画事業の視察をした秋田県田沢湖駅